

アジムスルフロン・シハロホップブチル粒剤 クサファイター 1キロ粒剤	取扱メーカー： 三井アグロ 原体メーカー： デュポン、ダウ
成分： アジムスルフロン〔スルホニルウレア系〕……………0.18% シハロホップブチル〔フェノキシ酸系 PRTR・1種〕…1.8%	性状： 淡灰色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】 ……………

- 水稲用中後期除草剤である。
- アジムスルフロン配合により、幅広い雑草に効果がある。
- 3.5葉期のノビエまで高い効果がある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 散布後少なくとも3～5日間は通常の湛水状態を保つ。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布するように注意する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ヘラオモダカ	3葉期まで
ミズガヤツリ	3葉期まで（東北、北陸、近畿・中国・四国） 4葉期まで（関東・東山・東海、九州）
ウリカワ	3葉期まで （九州は4葉期まで）
クログワイ	草丈20cmまで
オモダカ	広線形葉4葉期まで
コウキヤガラ	草丈15cmまで
シズイ	草丈10cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生始期まで

- クログワイ（関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州）、オモダカは必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用する。クログワイ（東北、北陸、近畿・中国・四国）、オモダカ（九州）、コウキヤガラは有効な前処理剤と組み合わせて使用する。また、クログワイ、オモダカに有効な後処理剤と組み合わせて連年使用することにより、さらに効果が向上する。

- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する。雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布する。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用外作物（とうもろこし、食用ひえ、ソルガム等のいね科作物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】 ……………

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 魚類に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。

【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用 方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移 植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ（東北） ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ コウキヤガラ （北陸を除く） シズイ（東北） ヒルムシロ セリ（九州を除く）	砂壤土～ 埴土	移植後 20 日～ ノビエ 3.5 葉期 但し、 収穫 30 日前まで	1 kg	湛水 散布	全域（北海道 を除く）の普 通期及び早期 栽培地帯	1 回 ※

※アジムスルフロンを含む農薬の総使用回数：1 回

※シハロホップブチルを含む農薬の総使用回数：3 回以内